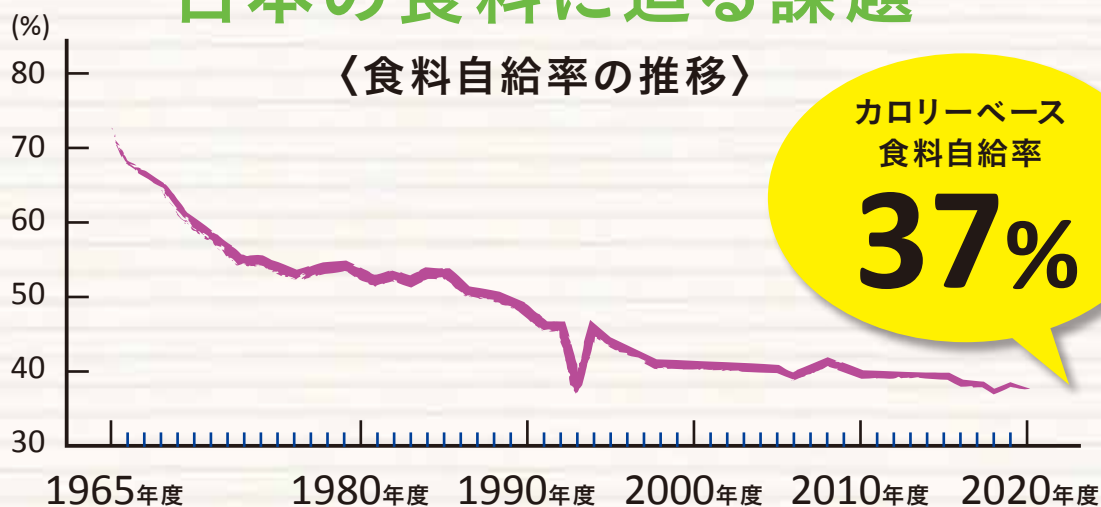


農家の減少や高齢化、自然災害や気候変動……

食の未来が心配です

日本の食料に迫る課題

〈食料自給率の推移〉



カロリーベース
食料自給率

37%

(カロリーベース、農林水産省調べ)



国際情勢による
輸入食料や木材の
供給が不安定なのが
心配です

自然災害や
気候変動など、
農林水産への影響が
心配です。



農家が減少し、
高齢化していることも
心配です。

世界の
人口増加が及ぼす
食料パニックが
心配です。



こんな課題を放置したままだと、 日本の農林水産業はどうなるの？

- 多面的機能の喪失でさらなる災害の頻発
- 農地の荒廃、減少で生産基盤の弱体化
- 世界的な食料争奪で食料不足のおそれ

農林水産業を支えることは、 日本を支えること。

●生産資材高騰対策

肥料・飼料・燃油など生産資材の高騰対策強化と供給体制の整備・安定を図ります。

※6月8日、政府へ緊急要請！

●農業者戸別所得補償制度の復活

農業者戸別所得補償制度を復活し、持続可能な再生産を確保します。米の生産調整は政府主導に戻します。復活に先がけて、水田活用直接支払交付金を法制化し、恒久化を図ります。

※6月6日、水田活用直接支払交付金法案提出！

●農山漁村の多面的機能の発揮・強化

食料安全保障や環境保全、及び中山間地域を支える観点から直接支払制度の見直しを検討するなど、農林水産・農山漁村が持つ多面的機能の発揮・強化を図り、国民全体へ恩恵をめぐらせます。

●畜産・酪農支援

着実な生乳需給の安定を図りつつ、地域の特色に応じた畜産・酪農経営を支援し、酪農ヘルパーを充実する等、家族経営を中心とする中小規模でも持続可能な酪農生産を目指します。

●担い手育成

多様な担い手が共生する農業のあり方を支援し、親元就農や副業農業等、新規就農者への支援策を充実します。

- 輸入小麦マークアップ分の国による補てんを通じた小麦高騰対策。国内産麦の生産や米粉用米の加工・販路促進を支援。
- ミニマムアクセス(MA)米の輸入について、受け入れの停止や見直しを要求。
- 作業路網の整備など、森林環境保護と林業振興を一体的に推進した木材の安定供給と国産材の利活用促進。
- 「積立ぶらす」「漁業経営セーフティネット構築事業」を充実・強化。漁業を支える加工、資材、販売、漁協などを面的に支援して「浜プラン」を充実・強化。

食料自給率向上！食料安全保障を確立！



立憲民主党
立憲民主編集部

〒102-0093
東京都千代田区平河町 2-12-4
ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302

いまこそ
生活安全保障
が必要です。



立憲民主党
ウェブサイト



立憲民主党
政策ページ

▲くわしくはこちらから